SPI Japan 2020 – ソフトウェアプロセス改善カンファレンス 2020 –
「エッセンスを読み取る」 ～ そこにあるものの仕組みとパラメータを知ろう！～

セッション2：組織・働き方改革

TIS
TIS INTEC Group
Go Beyond

いざ！
品質革新本部Transformationで働き方をアップデート！

–みんなでアイデアを出し合い、新たな取り組みにも果敢にチャレンジー

2020/10/14

TIS株式会社
松崎 美保 <Miho Matsuzaki>
中谷 一樹 <Kazuki Nakatani>

© 2020 TIS Inc.

本日お伝えしたいこと

TIS
TIS INTEC Group

私たちが自ら組織の変革に
取り組み
Transformationを図っている
事例をご紹介します

© 2020 TIS Inc.

1．会社紹介

2．課題認識

3．活動内容

4．効果

5．課題と今後に向けて

© 2020 TIS Inc.

TISインテックグループのご紹介

■テレビCM

「魔人登場」篇

スペシャルサイト
https://www.tis.co.jp/tisintec/special/

■交通広告

「ITで、社会の願い叶えよう。」

東海道新幹線（東京駅ホーム　中央階段）

■雑誌広告

「ITの力で人と社会を元気にするTIS」

エネルギー

ロボティクス

キャッシュレス

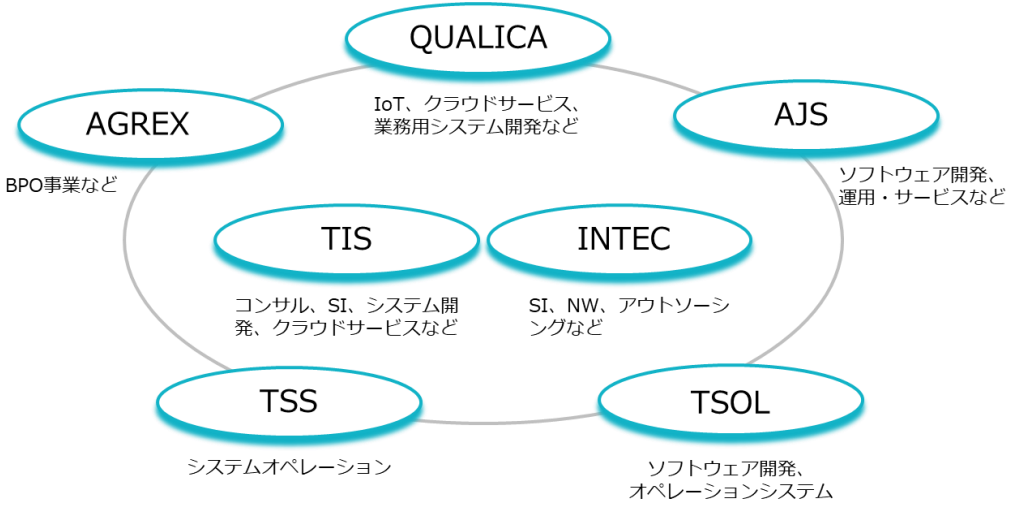
「未来にもっと、彩りを。」

© 2020 TIS Inc.

TISインテックグループのご紹介 （2020年7月1日現在）

TISインテックグループは日本のリーディングIT企業グループとして、幅広い業種にわたるお客様の多様なニーズに対して的確に対応しています

TISインテックグループ主要会社



48社、約2万人が一体となり強みを活かし
日本国内および海外の
金融・製造・サービス・公共など
多くのお客様のビジネスを支える
ITサービス
をご提供し、社会基盤を支えることに貢献します

社名	TIS株式会社(TIS Inc.)
創業	1971年4月28日
設立	2008年4月1日
資本金	100億円

従業員	連結:19,744名　単体:5,680名（2020年3月31日現在）
売上高	連結:443,717百万円 単体:196,661百万円（2020年3月期）
主要取引銀行	三菱UFJ銀行, 三菱UFJ信託銀行
上場市場	東証第一部（3626）

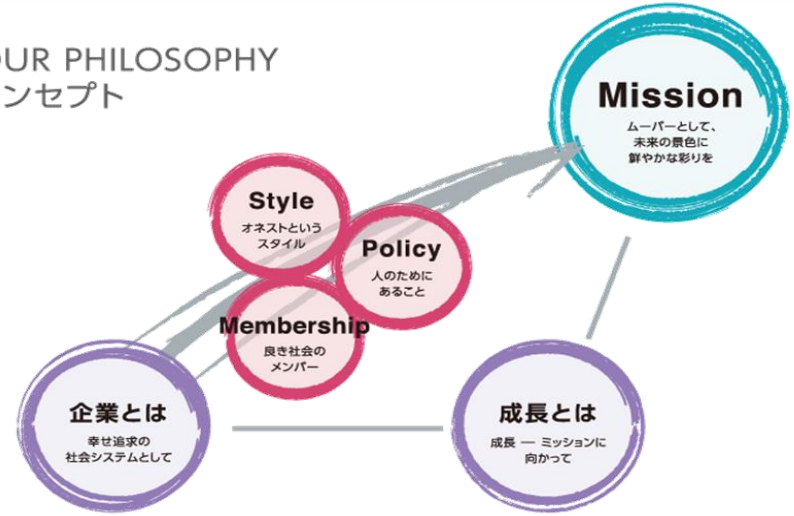
© 2020 TIS Inc.

OUR PHILOSOPHY（TISインテックグループ基本理念）

「OUR PHILOSOPHY」は、ＴＩＳインテックグループの価値観です。
グループの経営、企業活動、役員や社員などの構成員において、大切にする考え方やあり方を幅広く明確化しており、当社グループのすべての営みはこの「OUR PHILOSOPHY」を軸に行われます。当社グループは、社会に対して果たすべき役割として、「デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける」存在を目指してまいります。

Mission（社会に対して果たすべき役割）

デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける



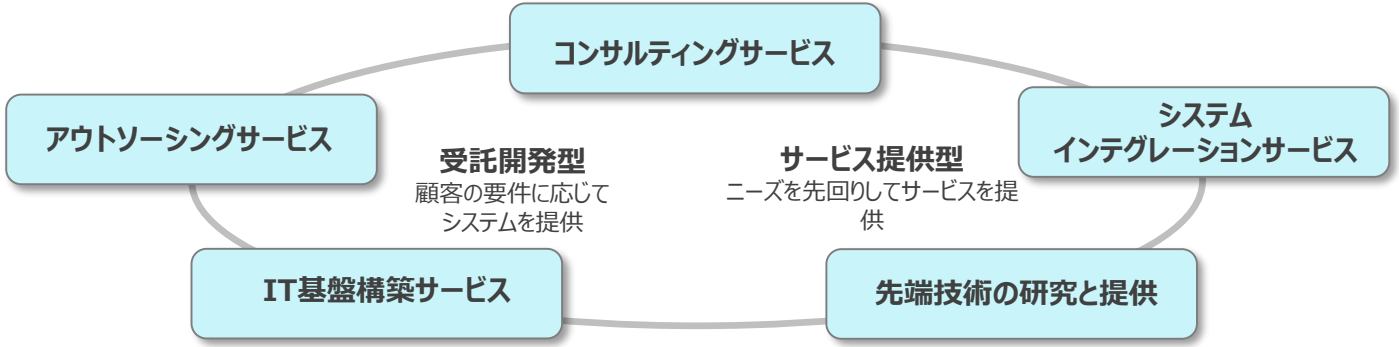
詳しくは右ホームページで公開していますのでご覧ください https://www.tis.co.jp/group/philosophy/

© 2020 TIS Inc.

TISインテックグループのご紹介 （事業領域と実績例）

TIS
TIS INTEC Group

お客様のシステムライフサイクルやIT関連業務を、あらゆる面からワンストップで最適にサポートします。



安定した保険制度の基盤整備に貢献 **国保連向け** システム導入・運用保守 提供実績 **12/47都道府県**	外食産業専門の店舗管理システム **「TastyQube」** システム導入実績 **約20%** （外食産業上位200社ベース）	安全・安心なクレジットカード決済を支援 **クレジットカード** 基幹システム開発実績 **国内市場シェア** **約50%** （取引のある顧客のクレジット年間取扱高ベース）	金融機関における情報の一元管理、 業務の効率化と高度化を支援 **「F^3(エフキューブ)」** 導入実績 **38行/64行** （地方銀行）
電力自由化に伴う新電力事業者の 事業立ち上げに貢献 **「エネLink」** 利用実績 **国内スイッチングシェア** **約40%**	電子商取引における業務の 効率化を支援 **EDI** システム構築・運用実績 **接続先数** **約10万ID**	国内のキャッシュレス決済を推進 **ブランドデビットカード** 関連サービス提供/ システム開発実績 **国内市場シェア** **約80%**	BPO業務で生産性の高い 経営戦略の推進に貢献 **データエントリーサービス** 取扱実績 **年間** **約8,000万レコード**

© 2020 TIS Inc.

自己紹介

発表者：松崎 美保（品質革新本部 品質マネジメント革新部所属）

➢ 略歴

1997年　TIS株式会社（旧東洋情報システム）に入社、金融業界向けのシステム開発に従事
2000年　社内システム保守、プロセス改革に従事。QMS展開、プロセス改善、ワークスタイル変革プロジェクトに参画
2014年　金融業界向けのシステム開発プロジェクトに参画
2018年　品質革新本部に異動、QMS変革、ナレッジ活用、人材育成を担当、品質・生産性向上施策に取り組み中

共同執筆者：中谷 一樹（品質革新本部 エンハンスメント革新部所属）

➢ 略歴

1992年　TIS株式会社（旧東洋情報システム　大阪本社）に入社、土木設計CADシステムなどの開発に従事
2004年　品質マネジメント部（東京本社）に異動、QMSの維持・改善など、全社の品質向上施策に従事
2017年　エンハンスメント革新部に異動、社内研修の企画・開催、改善活動発表会のイベント企画・開催に従事

© 2020 TIS Inc.

1．会社紹介

2．課題認識

3．活動内容

4．効果

5．課題と今後に向けて

© 2020 TIS Inc.

TIS 組織図

（2020年4月1日時点）

TIS
TIS INTEC Group

本社系組織

- 株主総会
- 監査役会
- 取締役会
- 会長
- 社長
- 経営会議

監査部

企画本部
- 企画部
  - コーポレートサステナビリティ推進室
- 経営管理部
- システム企画部
- 財務経理部
- コーポレートコミュニケーション部
- 秘書室

人事本部
- 人事企画部
  - 働き方改革推進室
- 人事部
- 人材開発部

管理本部
- 総務部
- 法務・知的財産部
- コンプライアンス統括部
- 情報システム部
- 基盤センター

業務本部
- ビジネスプロセス統括部
- 調達部
- シェアードサービスセンター
- オフィススタッフセンター

グローバル本部
- グローバル事業企画部
  - 北京駐在員事務所
  - ホーチミン駐在員事務所
  - ジャカルタ駐在員事務所

テクノロジー＆イノベーション本部
- テクノロジー＆イノベーション推進
- 西日本テクノロジー＆イノベーシ
- アプリケーション開発部
- テクノロジー＆エンジニアリングセンタ
- インキュベーションセンター
- 戦略技術センター

品質革新本部
- 品質監査室
- エンハンスメント革新部
- 品質マネジメント革新部
  - プロジェクトリスク監理室
- ビジネスパートナー推進部
- セキュアワンセンター

事業系組織

インダストリー事業統括本部

金融事業本部
- クレジットプラットフォーム事業部
- カードネットワーク事業部
- カード第１事業部
- カード第２事業部
- フィナンシャル事業部
- リース・ローン事業部

産業公共事業本部
- ＣＯＲＥプロジェクト推進事業部
- エネルギービジネス事業部

ビジネスイノベーション事業部

品質革新本部
- 品質監査室
- エンハンスメント革新部
- 品質マネジメント革新部
  - プロジェクトリスク監理室
- ビジネスパートナー推進部
- セキュアワンセンター

➢ ミッション：
TIS提供サービスの品質・生産性向上

© 2020 TIS Inc.

取り巻く状況

TIS
TIS INTEC Group

デジタル技術が社会変革を加速

社会の在り方変化

産業構造変化
新型コロナウイルス感染拡大
新しい生活様式

社会課題の解決をリードする企業グループへ

優先度の高い社会課題
事業領域の特定を推進

高品質なサービス・安全・豊かさの提供

信頼される企業であり続ける

品質革新本部は、当社の重要な役割を担う組織

© 2020 TIS Inc.

TIS
TIS INTEC Group

2018年当初

事業系組織
最先端技術・ツール活用
働く環境の改善・働き方改革
積極的

あるべき姿・役割とのギャップの更なる拡大

固定観念へのとらわれ・時代の変化への遅れ

品質革新本部
高品質なサービス提供
リスク抑制・失敗回避
保守的

© 2020 TIS Inc.

打開策　～Transformationでアップデート～

危機感を払拭するために・・・

一人ひとりが変革するマインドを持ち、

「働き方改革」「働きがい改革」を実感できる

自分達の施策を推進

継続的改善　レベルアップ

グループ・社会に貢献

© 2020 TIS Inc.

1．会社紹介

2．課題認識

3．活動内容

4．効果

5．課題と今後に向けて

※以降、「品質革新本部」の略称として「品質本」を使用

© 2020 TIS Inc.

活動のアプローチ

TIS
TIS INTEC Group

全員が自ら考え、自ら変える

柔軟な発想を活かす

部門横断で組織共通のテーマを議論

© 2020 TIS Inc.

活動テーマ（2018-2020）※活動期間:約2年

TIS
TIS INTEC Group

全員がテーマ毎のチームに所属し、リーダーを中心に検討
本部長・部室長もアドバイザーとして参画

2018年度	2019年度	2020年度（継続中）
① 品質本の**あるべき姿・ありたい姿** ② 品質本**人材育成** ③ 品質本ならではの**働き方改革** ④ 品質本の**業務効率化・高度化** ⑤ 事業部門に対する**サービスレベル向上**・満足度向上・価値向上 ⑥ **働きがい向上**	① 品質本の**あるべき姿**・ありたい姿 ② 品質本ならではの**働き方改革** ③ 品質本の**ユニット化** ④ 事業部門に対する**サービスレベル向上** ⑤ **SDGs**について品質本としての取り組み	① 品質本の**ミッション定義** ② 豊洲移転に向けた検討（**働き方改革** Next） ③ 品質本**プロフェッショナル集団化**に向けた検討 ④ 品質本**ブランディング戦略** ⑤ **働きがい改革**
2018/7～活動開始	**Office365導入 SDGs**	**新しい生活様式 次期中計 オフィス移転**

© 2020 TIS Inc.

活動のポイント

あるべき姿
組織の在り方

提供価値
サービス

働き方
働きがい

プレゼンス

人材

組織の在り方＋旬のテーマ

- ✓ 通常業務とは異なり、視点を変えて考え、発言する必要がある
- ✓ テーマ設定は自然と経営計画につながるよう考慮

© 2020 TIS Inc.

テーマ検討と本部内共有の進め方

TIS
TIS INTEC Group

具体的な進め方はチーム毎に自分達で決定
（チーム：リーダー、メンバー、アドバイザー（部室長）で編成）

週次／隔週で検討実施

月次／隔月で活動状況を本部全体に報告

検討した取り組みは随時実活動に取込み

- ✓ 本部の人材育成（教育活動）の一環として実施
- ✓ 半期毎に振り返り、期初に活動見直し

© 2020 TIS Inc.

2年間で議論された数々の取り組み（１）

集約前のアイデアベースも含むと数百は出ている

© 2020 TIS Inc.

2年間で議論された数々の取り組み（２）

※水色セル→事例紹介

TIS
TIS INTEC Group

2018年度		2019年度		2020年度(継続中)	
①品質本のあるべき姿・ありたい姿	・品質本のあるべき姿・ありたい姿 ・他テーマとの整合性検討	①品質本のあるべき姿・ありたい姿	・あるべき姿・ありたい姿具体化 ・品質本の課題 ・あるべき姿になるための施策 ・人材像定義 ・タスク・スキルマップ作成	⑤ミッション定義 ①品質本のミッション定義	・進め方ブレスト ・ミッションに対する想い共有 ・ミッション、ビジョン、バリュー（ターゲット）の観点洗出し ・ミッションステートメント作成
②品質本人材育成	・品質本は何のプロか ・品質本の役割は ・人物像アンケート検討・実施・集計分析・結果共有 ・育成方法検討 ・人物像の定義	②品質本ならではの働き方改革	・目的・ねらいの整理 ・品質本ならではの働き方改革の全体像 ・働き方改革施策案の作成 （コミュニケーションの向上4案、業務効率化・高度化4案、フリーアドレスの推進1案、その他：１案） ・コロナウィルス対策（快適なZoom 会議開催ガイド暫定版発行） ・備品に関する情報発信	④働き方改革Next ②豊洲移転に向けた検討（働き方改革Next）	・豊洲の席数50%削減案 ・おすすめツール＆仕組み ・3S（＝Share)推進提案 ・ワクワク働き方改革アイデア募集
①働き方改革 ③品質本ならではの働き方改革	・他社見学 ・外線廃止 ・座席部門シャッフル ・iPhone導入 ・フリーアドレス化検討	③品質本のユニット化	・ユニット化の施策案立案(3サブテーマ毎) ・ユニット化の具体的なアプローチ案 ・現場へのサービス向上・スキル向上策案（事業部情報の整理と共有） ・業務効率化の案(業務の集約、情報の集約）4案	⑥プロフェッショナル化 ③品質本プロフェッショナル集団化に向けた検討	・品質本のプロ定義 ・品質本のプロ見える化 ・人材の要件定義(予定)
④品質本の業務効率化・高度化	・各部フォルダを本部プロパーに公開 ・事業部向け情報発信の改善	④事業部門に対するサービスレベル向上	・あるべき姿を設定 ・あるべき姿の具体化、現状洗い出し ・現状とギャップから方策抽出 ・方策の整理・検討(5テーマ) ・方策を提案書に集約(3STEP) ・事業部向けサービス抽出 ・対象テーマ(サービス)確定 ・あるべき情報発信整理 ・情報の統合化・サービス検討 ・新規サービス候補　⇒7サービス 再設定案の提示	④品質本ブランディング戦略	・ブランディング戦略のアイデア分類・整理 ・TIG品質フォーラム2020(社内イベント)企画 ・SPI-Japan応募
⑤事業部門に対するサービスレベル向上・満足度向上・価値向上	・本部内の事業部連携会開催運営検討 ・トライアル ・発信情報洗い出し ・発信情報分類整理			⑤働きがい改革	品質本ならではのエンゲージメント検討 A 自分の上司または所属組織との関わりにおいて、 ・上司や同僚から認められていることを実感する　には？ ・組織風土・人間関係を向上させるには？ B ・働きがい改革の実施施策の有効性を評価するには？ ・社員意識調査結果から見た品質本の強みを伸ばし、弱みを克服するには？
②働きがい改革 ⑥働きがい向上	・働きがいの検討 ・皆で新宿を楽しもう ・品質本のイベント企画 ・部門の業務改善にTRY ・品質本の風土改善(褒める風土づくり) ・品質本の業務改善(上司や仲間を知る)	③SDGs ⑤SDGsについて品質本としての取り組み	・SDGsの理解・情報収集(社内) ・SDGsの情報収集と展開 ・SDGsの理解促進研修 ・品質本としてのアプローチ方法の具体化		

© 2020 TIS Inc.

～2019活動事例
①働き方改革
②働きがい改革
③SDGｓ

© 2020 TIS Inc.

活動事例①　働き方改革

2018年活動テーマ「品質本ならではの働き方改革」にて

場所と時間に捉われない働き方として**フリーアドレス化**を推進

在宅勤務／フレックス制度利用がスムーズに！

事例の確認
- 他社訪問２件
- ＴＩＳ先行組織

座席シャッフル
- 問題の洗い出し

同じ場所に集まらずにコミュニケーションを取る訓練をする為、**部門毎に席を固めず**定期的に席替え！

アンケート
- 課題の洗い出し
- 対策の立案

課題は固定電話機の設置場所と取次ぎの煩雑さ！

フリアド化企画
- フィージビリティの確認
- 費用の見積もり

VDIやiPhoneへの切替費用は予算内で賄えると上層部へ提案！

フリアド化計画
- オフィスレイアウト
- 機材の手配
- 運営管理

2019年よりパートナ推進部では外線電話を部門代表ではなく担当者のiPhoneに変更

© 2020 TIS Inc.

活動事例②　働きがい改革

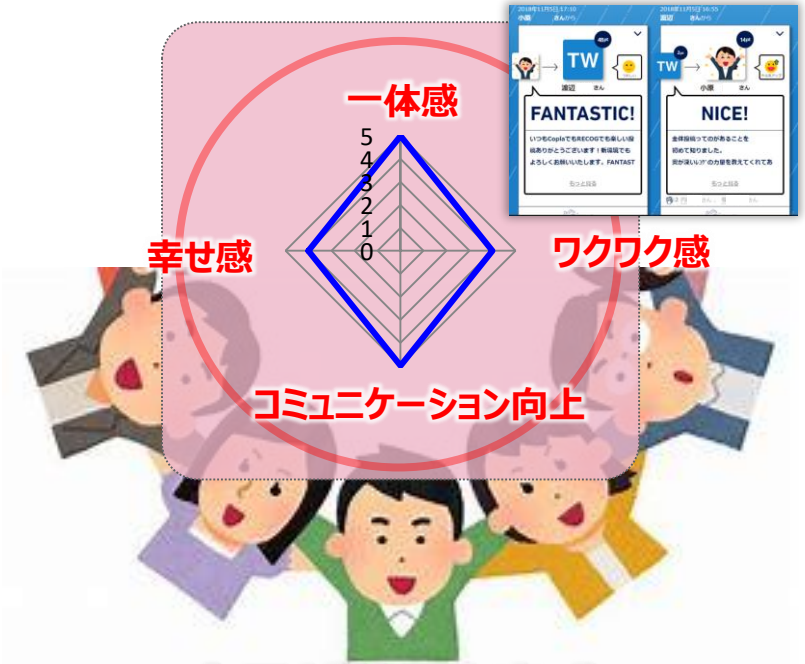
2018年活動テーマ「働き方がい向上」にて

価値観ババ抜き
～自分発見ゲーム～

あなたが大切にしているものは…

和気あいあいと
楽しく真剣に取り組めた！

称賛ツール



全員が効果を実感！

© 2020 TIS Inc.

活動事例③　社会課題への取り組み＆社長賞受賞

2019年活動テーマ「SDGsについて品質本としての取り組み」にて

SDGsゲーム
～持続可能な開発目標～

Transformation活動
社長賞受賞(2019年)

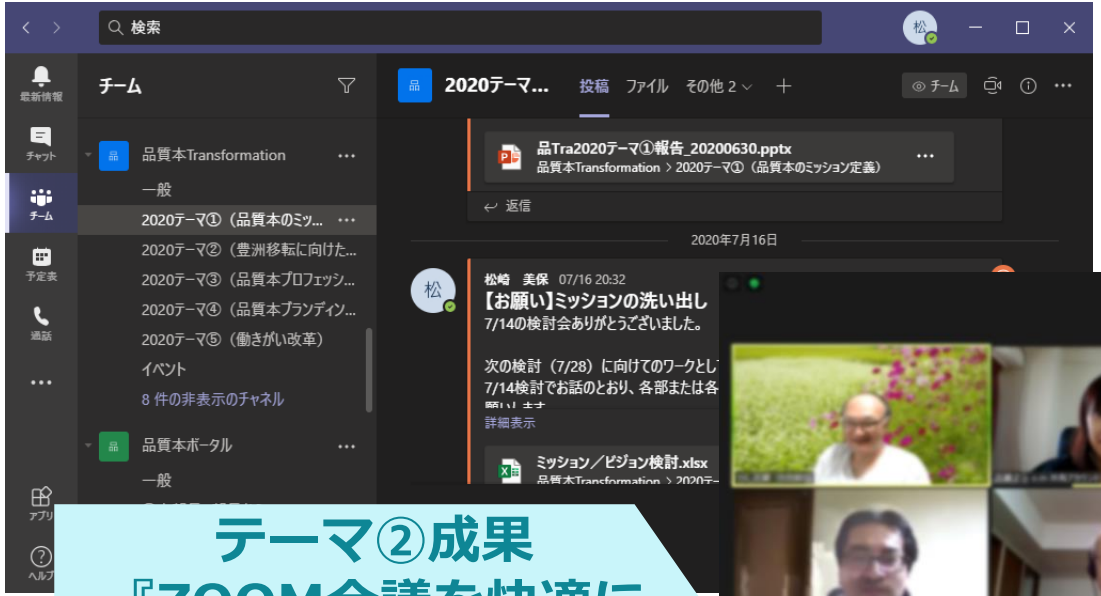
© 2020 TIS Inc.

2020活動事例（継続中）
活動風景
④働き方改革Next
⑤ミッション定義
⑥プロフェッショナル化

© 2020 TIS Inc.

2020年度活動風景

TIS
TIS INTEC Group



検討・共有・発表
全てオンライン開催！
ファイル共同編集実施

テーマ②成果
『ZOOM会議を快適に40分に収めるガイド』
カメラ原則ON等
本部共通ルール

© 2020 TIS Inc.

活動事例④　働き方改革Next（1）

TIS
TIS INTEC Group

革新的で生産性の高い働き方の実現

品質本働き方あるべき姿

➡全社の模範となる革新的で生産性の高い働き方が実現されている状態

ライフスタイルに合った働き方実現

➡多様な働き方が「当たり前に」実践されている状態
（FLEX、休暇、 テレワーク勤務、育休・介護休、その他）

場所・時間にとらわれない働き方整備

➡品質本メンバが各ツールを使いこなし、
場所にとらわれない働きかたが浸透している状態

生産性を向上させるツールを使いこなす環境を整備
コミュニケーションの壁を取り払う、風土改革

➡設備の利用環境やガイドラインが整備されている状態

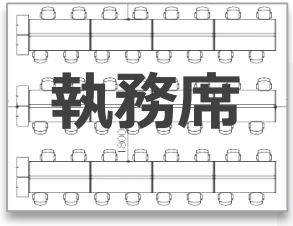
© 2020 TIS Inc.

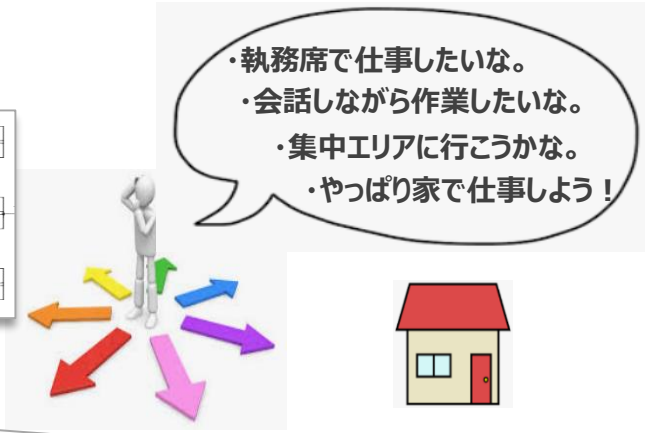
活動事例④　働き方改革Next（2）

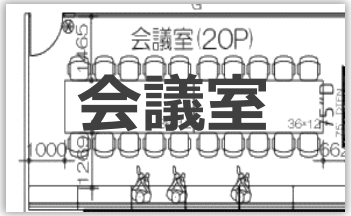
TIS
TIS INTEC Group

品質本の豊洲新オフィス活用コンセプト

新オフィスでの「働き方」選択



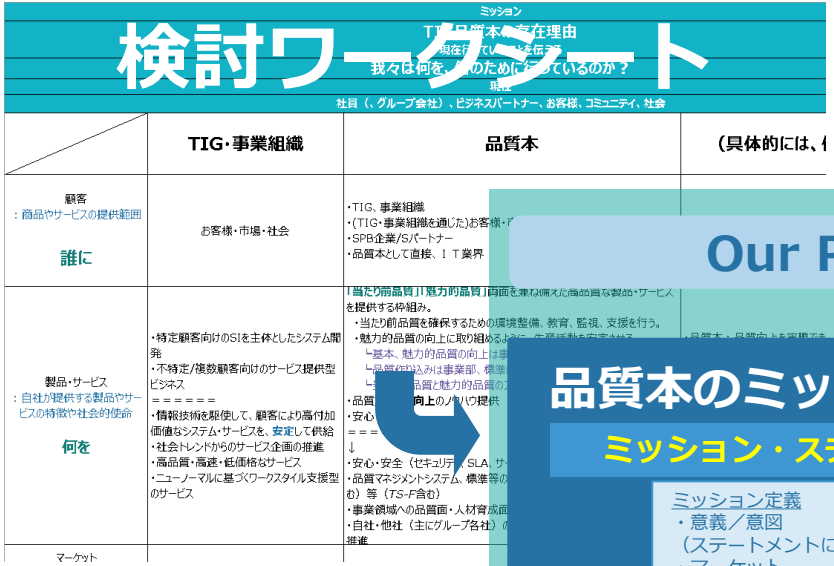




© 2020 TIS Inc.

活動事例⑤　品質本のミッション・ビジョン検討

TIS
TIS INTEC Group



Our Phylosophy（TIGの基本理念）

整合
確認

品質本のミッション

ミッション・ステートメント

ミッション定義
・意義／意図
（ステートメントに込めた思い）
・マーケット
・製品、サービス
・品質本の技術　・・・

品質本のビジョン
品質本が実現したい姿

社会に対してどうしたい？
TIG/TISをどうしたい？

ミッションを果たすための品質本の形	品質本自身のありたい姿
組織	組織
人材	人材
行動・活動	行動・活動

我々のミッションは？
どうありたいか？
すり合わせ・議論
未来を見据え
次期中計にもリンク

© 2020 TIS Inc.

活動事例⑥　品質本の人材像検討

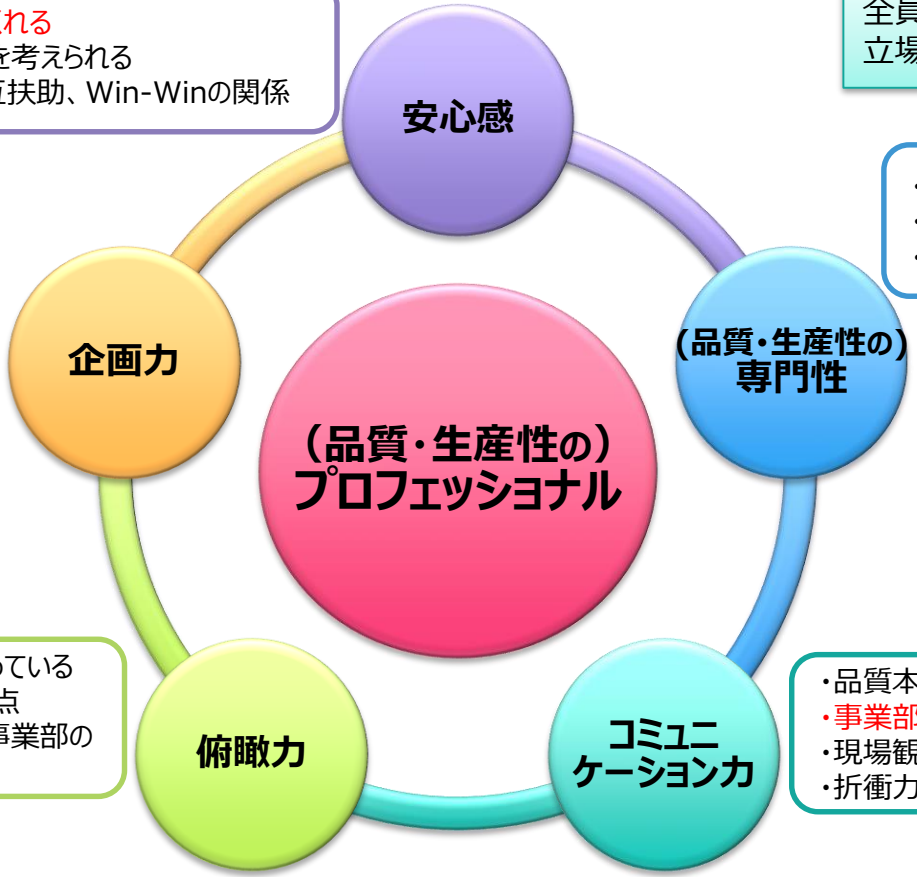
TIS
TIS INTEC Group

全員が同じ人材像ではなく、
立場や役割によって違いはある

・困った時に助けてくれる
・現場目線で物事を考えられる
・ギブ＆テイク、相互扶助、Win-Winの関係

・品質・生産性に関する知識
・業務スキル（専門家によるチェック等）
・情報収集力（社内、競合他社等）

・状況整理、分析
・課題抽出、施策策定
・企画の遂行



・将来的なビジョンや全社視点を持っている
・目先のことだけではなく、中長期視点
・広い視野（ALL品質本で対応、事業部の先の顧客のことも考えられる）

・品質本施策を理解させる
・事業部をリード（コンサルティング等）
・現場観察力
・折衝力、巻き込む力

© 2020 TIS Inc.

取り組みにあたっての苦労・工夫

TIS
TIS INTEC Group

人

参加しないメンバーの存在
活動への理解度、意識合わせ
意見の引き出し方
メンバーによる捉え方の違い

- ✓ **各自の希望を優先**しチームを編成
- ✓ 個別に会話、時には割り切りも
- ✓ **必ず発言、出席、意見**し活動の一端に
- ✓ 意見は基本取り込みすり合わせ・集約へ

内容

企画するも参加不芳のイベントも
テーマ検討・意見集約の難しさ
わかり易い成果や結果が出ない

- ✓ 組織/現場/支援/個人の**改善を意識**
- ✓ **自由な発想で楽しく**取り組む
- ✓ 段階に分けて**実施のハードルを下げる**案に
- ✓ 実業務での活用を意識

進め方

時間確保／工数捻出
活動頻度による議論非効率化
メンバーの日程確保
個人検討の宿題対応負荷

- ✓ **議論の段取り**を意識・**たたき台**の用意
- ✓ 活動形態の工夫（**集合・個人での検討**）
- ✓ 各種**ツールの活用**（チャット・掲示板等）
- ✓ 開催の分割

© 2020 TIS Inc.

1．会社紹介

2．課題認識

3．活動内容

4．効果

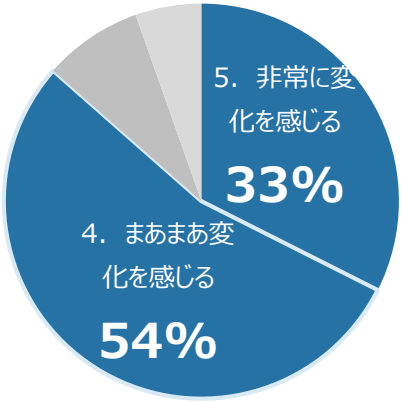
5．課題と今後に向けて

© 2020 TIS Inc.

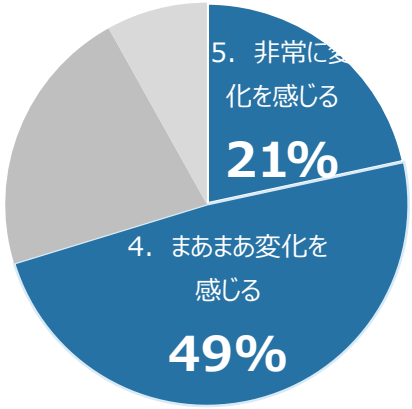
アンケートによる変革の効果を確認

Transformation活動による変化

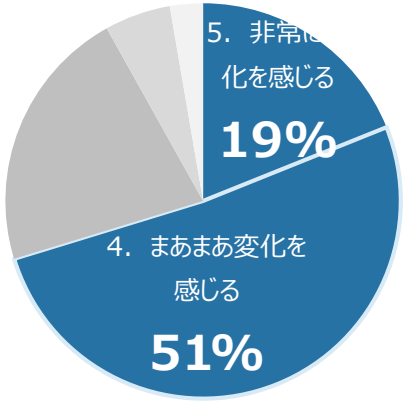
自身
87%



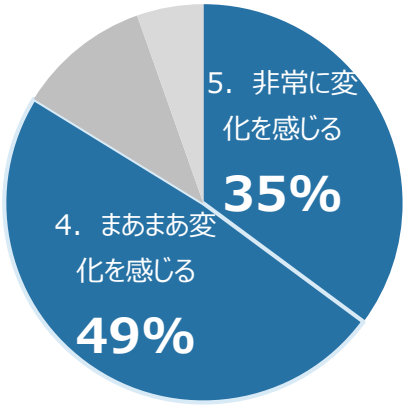
業務遂行
70%



所属部門
70%



品質革新本部
84%



凡例
- 5．非常に変化を感じる
- 4．まあまあ変化を感じる
- 3．どちらとも言えない
- 2．あまり変化を感じない
- 1．全く変化を感じない

自身および本部の変化を感じている比率

80%超

© 2020 TIS Inc.

変革の効果への具体的な意見

自身の意識
メンバーへの関心
コミュニケーション
一体感・雰囲気
連携強化・仲間意識

働き方改革早期化
各種取り組みの成果
全社への貢献
プレゼンス向上

視座向上
次世代リーダー育成
昇格者増
女性活躍促進

© 2020 TIS Inc.

効果への具体的な意見①マインド・一体感の醸成

TIS
TIS INTEC Group

活動自体が本部の雰囲気を変え、変革につながっている

- 職場環境をより良くしようとの**意見出しの場があり、実践している**ことが**一体感に寄与**
- 業務優先という制約はあるかもしれないが、**可能な限り「全力」で参加**するようにした
- 他部門メンバーとの**距離が縮まり**、**コミュニケーション**が格段に取りやすくなった
- 自分の部門の人以外にも**相談できる仲間が増えた**
- 各部門の担当者同士での業務情報の**連携や施策協力／意見交換**等が**スピーディに**
- 本部内の情報共有、**施策の共同検討・推進**、研修開催が当たり前になった
- グループ・現場のために**良き品質本を目指そうという思い**が芽生えていると感じる
- 「部門」ではなく「本部」として**外部からどう見られているか**を考えるようになった
- 品質フォーラム（全社イベント）開催の目標設定により**活動がさらに活性化**した

© 2020 TIS Inc.

効果への具体的な意見②活動の成果

働き方改革・働きがいの向上・各活動に効果あり

- 働き方改革（2018年度）やOffice365（2019年度）の積極的推進により**どこでも仕事ができる状態にしていた**ことが、コロナ問題での**スピーディな在宅勤務移行**に寄与し、**次ステップへの取り組みも早期化**した
- 称賛、フリーアドレス化で**メンバを知る**ことができた
  人を知る事で**興味も生まれ**、無色に近かった「品質本」に色がついた
- 働きがいの向上施策（各種イベント、称賛活動等）は、**本部内の多くのメンバーに良い影響**を及ぼした
- 品質本の活動が**全社活動につながるケース**（称賛活動）もあり**会社貢献ができている**
- 各年度、各チームの活動どれにおいても**やったことで得られた効果があった**
- 品質本の目指す姿で描いていた姿が、**現状や今後の方向性のベースに**もなっている
- **SDGｓの理解**は本社系部門として必須であり良い取り組みだった
- **社長賞**も頂き、品質本の**プレゼンス向上**にもつながっている

© 2020 TIS Inc.

効果への具体的な意見③人材育成

次世代リーダーの育成、女性活躍促進に寄与

- 主任クラスの**視座が上がり**、本部の運営や業務を考えるきっかけになっている
- **広い視野**で物事を考えることが多くなった
- **掲げているテーマが視座が高くなるように設定**されており、通常業務とは異なる視点で考え、発言する必要があり、**成長感を伴った活動**となっている
- 次世代リーダーとして昇格者増加（2020年4月。カッコ内は2019年4月）

上級管理職	新規認定	**1**名（**2**名）
管理職	昇格	**3**名（0名）
主任職	昇格	**2**名（**1**名）

- 女性活躍促進実績

上記昇格者のうち　**5**名（0名）

© 2020 TIS Inc.

みんなでアイデアを出し合い、新たな取り組みにも果敢にチャレンジ

「働き方改革」「働きがい改革」を実感

組織の一体感・連携

変革意識の醸成

変革を図りたい組織に効果あり

© 2020 TIS Inc.

1．会社紹介

2．課題認識

3．活動内容

4．効果

5．課題と今後に向けて

© 2020 TIS Inc.

今後に向けた課題と改善点（アンケートより）

TIS
TIS INTEC Group

施策連携強化・業務改善推進

・実業務での一歩進んだ連携（横ラインでの情報共有）
・業務効率化（本部内業務の集約と改善）
・組織編成、機能毎に動的なチーム編成
・事業部・グループ支援の一層の協業

活動方法

・主体性や積極性引き出し
・意見を言いやすい空気づくり
・小規模ディスカッションの推進
・モチベーション向上
・目指す姿・求められる姿に対し、メンバー自身どうなりたいか
・リーダー負荷軽減

テーマ設定

・成果評価・継続判断
・テーマ検討と施策取り組みのつながり
・テーマの希望を募る

取り組みテーマ

・組織改善の取り組み
・本部全体の育成体系
・社内外の情報発信活性化
・プレゼンス向上
・ブランド力向上
・サービスのメニュー化
・DX推進・情報の有効活用

範囲拡大

・事業組織との連携
・TISグループとの連携
・現場を良く見る活動に

働き方改革のさらなる促進

・オンライン・リモート中心のさらなる効率化、発信
・快適な環境づくり
・コミュニケーションのさらなる活性化

© 2020 TIS Inc.

活動のアプローチ（再掲）

TIS
TIS INTEC Group

全員が自ら考え、自ら変える

柔軟な発想を活かす

部門横断で組織共通のテーマを議論

引き続き、継続的改善によるレベルアップを図り、グループ、社会に対して価値を提供し続けていきます

© 2020 TIS Inc.

おわりに（発表者気づき）

TIS
TIS INTEC Group

風通しが良くなった

本部には6年のブランクを経て2018年のTransformation活動途中に異動してきましたが、
その際も、何か知らないけど雰囲気がいいな！とワクワクしたのを覚えています。
各取り組みでの見える成果に加え、業務でも交流や相談がしやすくなり、確かな効果を感じています。

変革は一人ひとりの想いから

リーダーとして、沢山のアイデアをまとめて成果を生み出すことの難しさを感じることもありましたが、
特に感じるのは、変革の種はメンバーが発言したたった一つのアイデアであること。
これが共感を呼び、広がり、更なるアイデアが加わっていき形になっていくものだということです。

SPI-Japanでの発表機会を得て

今回、発表機会を頂き、過去実績の整理やアンケートの実施を通じ、活動や組織に対し、確かな効果を
確認できたとともに、表出できていなかった課題や改善点も明らかになりました。

活動成果をまとめること自体が、とても重要な振り返りの機会になりました。

**一緒に活動をしてきた本部メンバー・リーダー・本部長／アドバイザーへの感謝とともに
この度は貴重な機会をいただき、JASPICの皆様、SPI-Japan事務局とご参加の皆様に
心より感謝申し上げます。**

© 2020 TIS Inc.

ご清聴ありがとうございました

TIS INTEC GROUP | Go Beyond

<本資料の取り扱いに関して>
本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。
本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。